

退屈な

エンド

ロール

エンドロールまでが映画です。

脚本・監督 井上テテ

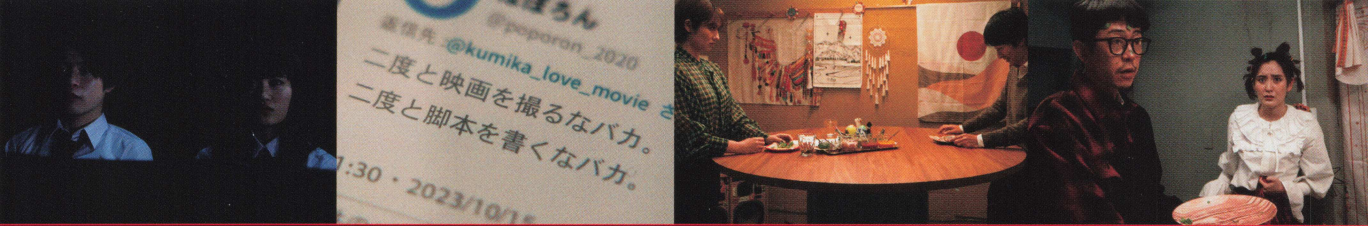
奥山かずさ

中里萌 大原由暉 山口大地 広山詞葉 岩井七世 宮澤翔
高橋蟹丸 井上テテ 中西広和 須賀貴匡(特別出演) / 野呂佳代

エンディング曲: シーナ&ロケッツ「YOU MAY DREAM」(ALFA MUSIC, INC.)

プロデューサー: 広山詞葉 百瀬龍介 撮影: 萩原脩 照明: 堅木直之 録音: 寒川聖美 美術: 上田令 編集: 高階匠 助監督: 茂出本和子 スタイリスト: 村瀬昌広 ヘアメイク: 小坂美由紀
宣伝デザイン: 中村友理子(HOOH) 製作: Project K 配給: 株式会社SORA / 文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業

PG12 映倫
2017-A



大好きな作家・井上テテさんの新作。
それはなんと「映画業界の私達にとっては
普遍的テーマの会話劇」なのだった！
「つまらん映画は詐欺罪！」あいたたー！！
私達の人生の「死角」を軽妙洒脱に描くのは
どきどきするからやめてほしい…と思ながらも
ラストの名曲までイッキ見してしまう
すごい構造の作品。
恐れ入りました！テテさん！

映画監督
堤 幸彦



いつでも戦闘服を着た状態が
求められる現代社会
強い心を持つことが美学とされるけれど
傷ついた自分を受容できるようになりました

エンドロールのあと
私の明日が勝手に動き出す

やっぱり映画は人と人を繋ぐ接着剤
私がこんなにも映画を愛する理由をまた一つ確かに思いだした時間です

ひねくれた奴だな。
面白いと言われるカテゴリーから離れ、
面白くなるとされる手法を排除していったら、一体何が出来上がるのか。
そりゃ、考えるのは自由だけど、実際にはやらんだろう、誰も。
なに、やっちゃったの？ 撮っちゃったの？
なんで本当に撮っちゃうんだよ……しょうがねえな。観るよ。観るしかねえだろ。

小説家
誉田哲也



こんにちは。
脚本・監督の井上テテです。

「この映画の見方がわからない」と誰かに言われたらしく、なんか書いてくれと言われてこれを書いています。「映画の見方」ってなんだ？と思いつつ、ともかくそういう感想をいただくような作品ではあるわけで、今回映画を監督するというありがたい機会をいただいたので、初めて映画を監督する人間が、映画に対して真摯に向き合い、ただただ自分が映像に残したいものを撮ったものとして、老後になってこの作品を見返した時に、後悔しないものを撮りました。今まで脚本の仕事をしなが、何度も脚本の書き方を教え込まれてきたわけですが、そうすると人の作品を見ると色々な作品がいわゆる「型」とらわれていくようにしか見えなくなり、その途端にいられてしまい、まだそんな「型」もできてない頃の映画なんか見ると退屈だけど引き込まれたりするわけで、そうなるって映画やドラマの正解ってなんなんだろうとも思いつつ、そんなモヤモヤが生んだ作品と言った感じです。

この映画に面白みを感じてくれる方もいるかもしれないし、ただただ退屈と感じるかもしれないし、それは見る方がどう感じるかだと思います。決して突き放してるわけでもなく、どこかにいる「そうそう、こういうのが見たかったんだよ！」という人のために作りました。どういう感想になるかはわかりませんが、気に入ってもらえたら嬉しく思います。

井上テテ



映画ソムリエ
東 紗友美

予告編は
こちら



10.20.FRI UPLINK 吉祥寺 ROADSHOW ほか
順時公開